

今日で2学期が終わります。この間、保護者の皆様には、様々な面で学校をお支え頂き、本当にありがとうございました。おかげ様で、充実した毎日を過ごすことができました。

また、個別懇談会では貴重なお話を伺うことができました。共有したお子さんのよさやがんばりを、3学期につないでいきたいと思います。

縦割り班の中で育つ姿

2学期の取り組みとして充実していたことの1つは、縦割り班での活動です。

10月には、縦割り班での清掃を行いました。「もくもくそうじ」というネーミングで、木曜日に実施してきました。下の学年の子達は、上の学年の姿を手本に黙々と体を動かします。上の学年の子達は、下の学年に気を配りながら、活動を進めていました。お互いにより影響があったと思います。清掃後に、班ごと振り返りの時間を設けるのですが、そこで自身を見返したことが、次回の掃除にしっかり活かされていました。

11月14日には、縦割り班遊びを行いました。長縄をとぶ子のタイミングに合わせて縄を回そうとする高学年の姿がありました。楽しみながらも、相手のことを思いやる姿が見られました。

11月25日の手作り弁当の日も、縦割り班に別れて食べました。お弁当作りへのご協力、本当にありがとうございました。自分が参加した(あるいはつくった)分、思い入れが強かったように思います。食事後は、6年生が考えたゲームを楽しみました。明るい笑い声が、あちらこちらから聞こえてきました。

縦割り班活動においては、普段と異なる人間関係の中で相手意識が存分に発揮されます。上の学年の子は、相手を気遣う思いやりの心を育み、その姿にふれた下の学年の子は、いずれ自分が上の学年になったときに、きっと優しい姿を発揮してくれると思います。そんな風に優しさのバトンリレーが続いていけばと思います。

これからも、様々な人との関わりのなかで、相手を思いやる心を育てていきたいと思います。



2学期終業式での話

2学期が今日で終わります。この間一人一人が様々なことに前向きに取り



組み、友達と支えあいながら充実した生活を送っていたと思います。本当に、よくがんばりました。今日は、その中の1つの場面を取り上げて、2学期を振り返りたいと思います。

今年の運動会も、みなさん一人一人のすてきな姿がたくさん見られました。その運動会



に向けた、全校での練習の時のことです。全校ダンスの練習が終わって、みんなが水分補給に向かう中、その場に残っている人たちがいます。何をしているのか見ていると、校庭に散らばった、ダンスの旗の切れ端を拾っていました。すごいなあと思いました。ほんのこれだけのこともかもしれませんが、それができないのが人間です。地面に

切れ端が落ちていることに気づかなかったり、気づいても拾うという行動につながらなかったりします。「かっこつけて」みたいに言われるのは嫌だという思いが浮かんでくるかもしれません。でも、そうではなく、自分がした方がよいと思うことを、行動に移すことができる。誰かに言われたからではなく、自分で考えて行動している。それができる北山小のみなさんの姿を素晴らしいと思いました。

思い出すのは、サッカーの世界大会「ワールドカップ」の時に、日本から応援に駆けつけた人たちの姿です。試合が終わった後、勝っても、悔しい思いをして負けても、自分たちが使った会場のゴミ拾いをしてから帰りました。そのことに世界中の人たちが驚き、素晴らしいという声がたくさん寄せられました。それは応援に駆けつけた人たちだけではありませんでした。日本の代表選手たちも、自分たちが使ったロッカールームを、使いっぱなしではなく、きれいに整頓して帰ったそうです。選手達が帰った後、掃除をしようと部屋に入った人は、どう思ったでしょうか。これは、日本人としてとても嬉しい話ですし、それにつながる姿を、北山小のみなさんの行動から感じました。最後に見せる姿も、それにつながると思います。これは、修学旅行において、6年生のみなさんが食事をした後の机の様子です。いかが



でしょう。これを見たお店の人は、どんな風にしたと思いますか。

今日は、きれいに整えることのお話をしましたが、それだけではなく、自分がした方がよいと思うことを、思うだけではなく、行動に移

していく。その心を、これからもみんなで大事にしていきたいと思います。

さて、明日から冬休みに入ります。冬だから、お正月だからできることを楽しんでください。また、1番心配するのはけがや病気です。した方がよいことと、してはいけないことを、自分の頭で考え、行動してください。3学期にまた、元気に会いましょう。それでは、よい年をお迎え下さい。

お願い

○1月末まで、市内の各校で、印刷に失敗してしまったはがき、使わない

まま年が変わってしまった年賀はがきを集めています。いただいたはがきは、ユニセフ募金として世界の子どもたちのために役立てられます。お子さんを通じて、学校にご提出下さい。ご協力の程、よろしく申し上げます。

